

あん ぜん
安全 Book!

日本語 ver.

これだけはきをつけよう

あんぜん びょういん す

安全に病院で過ごすために



さく ベッドの柵はあげましょう

3秒でも・・・

ふりかえった
その一瞬!!

ほんの
少しでも・・・

入院中はいつもと異なる環境や体調不良もあり、より不安が増し、子供たちは日頃と違う動きをします。

ベッド柵は上段まで上がっていますか？



ベッドの中に踏み台になる物や窒息に繋がる物は置いていないですか？

ある
歩くときは手をつないで

点滴がついていると・・・

いつもよりオムツ替えが増えることも

点滴の事

うっかり忘れちゃうことも

あるよね。

好きなものを見ついたり不安になると点滴のことを忘れて走り出してしまうこともあります。



また、ずっと寝ていて久しぶりに歩くと
思っているよりもふらつくことがあります。
そんなことも想像して、安全のためにしっ
かり手をつないでください。

ある

歩きやすいくつをはきましょう

ぬげにくい？

つまづかない？

長くベッドで寝ていると思っていたように歩けないこともあり、脱げやすい靴をはいていると、足がもつれて転んでしまいます。

いつもより安全を意識してみよう!!



いつもなら大丈夫なことももう一度見直してみましよう。

サンダル × スリッパ ×

うわばき ○ マジックテープスニーカー ○



制作日 2023.1.10

制作 女子美術大学 アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域・アートプロデュース表現領域3年
野呂千花子 日渡咲絢 福井さやか 藤田睦美 山崎友花

翻訳協力 国立国際医療研究センター病院 国際診療部

文 国立国際医療研究センター病院 小児科

©National Center for Global Health and Medicine. All rights reserved.